



新年を迎えて

三篠地区社会福祉協議会

会長 水戸川 旭

新年あけましておめでとうございます。

平素は、三篠地区社会福祉協議会の活動に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は酷暑の続く暑い夏でした、皆様は暑さを克服し、元気で「福祉のまちづくり事業の活動にご尽力、ご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

当地域は幸いにも、災害被害及び事件等のない平穏な一年だったと安堵しております。

三篠地区社協のまちづくりの一環として、2010年12月に結成された女子サッカーチーム、「アンジュヴィオレ」が2012年広島県女子サッカーリーグで全勝優勝を果たし、2013年中国女子サッカー選手権で優勝(全勝無失点)、現在「男子サッカーリーグ」のJ2に当たる、チャレンジリーグ昇格が決定し、森下監督の卓越した指導のもと、選手達は活躍を続けております。

私達の地域まちおこしの財産として「広島かよこバス」につぐ、素晴らしい財産ができました。

地域の皆様の温かいご支援、賛助により「アンジュヴィオレ」は、さらに輝くことと信じております。

選手たちは昼間、働きながら学校に通いながら夜間、練習を重ねております。また、広島地域におけるイベント等にも参加し奉仕活動でも頑張っています。

「明るく、楽しく、前へ」と言う思いで、地域の皆様と共に「皆で支えあう最高のまち三篠」を目標に福祉のまちづくりへ向けて、奉仕活動を進めて行きたいと思っております。

安佐動物公園開園42周年行事に参加



子ども1日園長委嘱



園内「かよこバス」運行



民生委員・児童委員の改選

三篠地区民生委員・児童委員協議会

会長 若宮 登

全国の民生委員・児童委員は、平成25年11月末日をもって三年間の任期満了となり、一斉改選されました。

各町内会から推薦された候補者は、平成25年12月1日付けで新任、再任委員として、厚生労働大臣から委嘱されました。

今回も三篠地区民生委員・児童委員協議会(定員34名)は、各町内会のご推薦をいただき、すみやかに決定することができました。ご協力の程誠に有難うございました。

委員は、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉、生活福祉等多方面にわたり、最前線で活動することが求められております。その重責を考えると身の引き締まる思いです。

私たち委員全員は真摯に取り組む所存ですが、なにごぶん力が限られています。三篠地区社会福祉協議会会員の皆様のバックアップが是非とも必要です。地域支援のため、住みよい街づくりのため、一層のご支援協力の程よろしくお願いいたします。

広島かよこバス活用委員会だより

会長 高津 明伸

今年度は日本最初の国産バスが横川に復元、かよこバスと命名、地域の皆様に愛され、10周年を迎えます。

昨年度は、東日本大震災復興支援 かよこバスプレゼント「広島(日本初のバスのまち 横川)・福島(日本初の国産自転車のまち 浪江町)まちづくり交流会」を実施しました。



紙芝居: 広島かよこバス物語



浪江町三元車強奪事件簿

今年度は、来る3月16日(日)11時から三篠神社で、公募で選ばれたお二人の結婚式を、「かよこバスの日」行事として挙げる予定です。続いて午後1時から横川駅前広場で、かよこバス10周年記念式典を盛大に行います。地域のみなさまのご来場をお待ちしています。

本年も「地域とともにある学校づくり」を

広島市立中広中学校 校長 影居 光子

新年あけましておめでとうございます。

昨年も三篠地区社会福祉協議会の皆様には大変お世話になりました。地域学校及び子どもたちへのご理解とご支援、感謝申し上げます。

中広中学校区では、「地域に学び、地域で育つ『挨拶・掃除・感謝の心』」を基本方針として、「小学校と中学校、そして地域と連携・協力し、子どもたちの育成を図っていく」という柱をもって連携教育を進めています。

この私共の思いを受け、水戸川会長様よりは「子どもたちは地域の宝」というお言葉をいただき、地域の皆様より絶え間ないご支援を受け、なによりもこのこと自体が「本校の宝」と思っております。

現在、文科省におきましても地域の教育力の重要性から「コミュニティ・スクール」についての導入促進を進めています。これは「地域とともにある学校づくり」を制度として枠組みをしていくものですが、私は昨年、中広中学校に着任以来、中広中学校ではすでにコミュニティ・スクールとして地域と一体となった活動が定着していることを実感しています。



中広中学校生徒による横川駅前での年末募金活動

地域の皆さんからのご支援を受け、生徒たちはさまざまな活動に参加させていただくことで、自信と責任を学ばせていただき成長しています。そこには学校の教室では学びきれないものがあります。デジタルの世界では学べない、人と人が接してこそ得られるもの

を体験させていただいているのです。

今年も、子どもたちの健全育成のために地域皆様のサポートをいただいきたいと思っております。そして引き続き、「地域とあゆむ学校」として取り組んでまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

三篠小で 広島県教員研究大会開催！



三篠小学校 校長 木村 正信

平成25年11月13日(水)三篠小において、広島県の小学校教員対象に生活科研究大会が開催されました。広島県下から160人を超える教員が集まり、児童の学習の様子を観て熱心に研究協議がなされました。

午前中1～2年生生活科、3～6年生総合的な学習の時間の授業公開、午後は文部科学省調査官の講演等が行われました。

三篠小の特筆すべき実践内容は、低学年は三篠の秋の公園のよさ、三篠の商店じまん、中・高学年は、育成会との交流、竜王町の歴史、太田川の環境、三滝寺・三篠神社の被爆、アンジュヴイオレ・ふしぎ市・かよこバスへの地域の人の思いなどを調べて発表するものでした。

「素晴らしい取り組みだった」とお褒めの言葉をいただきました。

今後も、地域のよさを調べ、発信していきたいと思っております。三篠小へのご協力・ご支援のほどよろしくお願いたします。



「6年生 三篠の町のテーマソングを作ろう」



新町内会会長就任 ご挨拶
「WE LOVE みささ」

山手町町内会 会長 森島 誠司

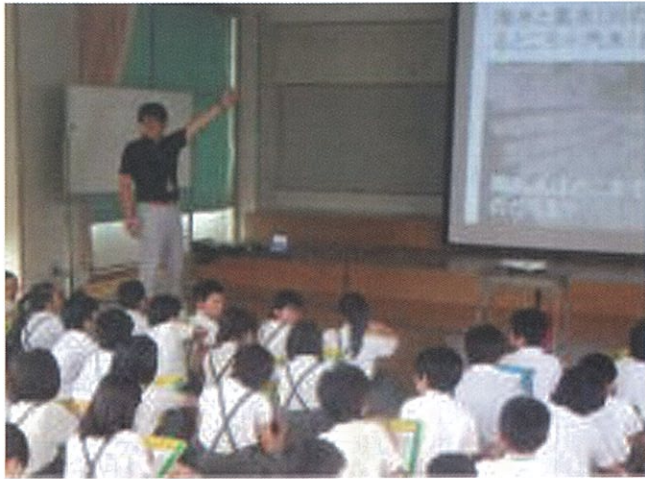
平成25年度より故妹尾明義前会長から引き継ぐこととなりました。ご指導のほどよろしくお願いたします。

今回は昨年、我が母校・三篠小学校でゲストティーチャーとして行った総合学習について紹介します。

現在、三篠小学校では、生活、総合学習で自分達の暮らしている地域を通じた様々な学習に取り組まれています。その中で3学年には「三篠のやさしさ」とし

て横川駅のユニバーサルデザインについて、4学年では「大切な三篠の環境」として太田川や三滝山の環境、ゴミの問題などについてお話ししました。

熱心に話しを聞き、積極的に質問をする子供達の姿勢に感心するとともに、改めて自分の育った三篠学区の素晴らしさを認識する機会ともなりました。



子供達から頂いたたくさんのお礼のお手紙の一部を紹介します。

「ぼくは三篠のことがとっても好きになりました。三篠がすごいなあと思いました(4年男子)。「私達の住む大切な三篠の町のかんきょうが、私達の力で笑顔になったらいいなあと思いました(4年女子)。「三ささの町に行くとわくわくしてまほうのすてきな町だと思いました(3年女子)。「そして「ぼくは森島さんがすごく広島が好きなんだと思いました(4年男子)」(笑)。

地域行事への参加者が減少し、家庭・地域と学校との連携が難しい昨今、私の愛する「三篠学区」では、地域を誇りとし、好きになる子供達が育っていることを嬉しく思うとともに、これからも地域に貢献できたらと考えています。

最後に、6年生では、女子サッカーチーム・アンジュヴィオレ広島について調べたグループもありました。横川で誕生した「紫の天使」たちは、昨シーズンの中国リーグを全勝で完全制覇、全国から集まった厳しい昇格戦も勝ち抜き、見事、来シーズンの“なでしこチャレンジリーグ”への切符を手に入れました。チームは舞台を全国に移し、大きく羽ばたきます。

毎週木曜日三篠小学校で開催されている女子小学生のサッカースクールでも、市内16校から児童・生徒が集まり、お姉さん達の活躍に感化されながらサッカーを楽しんでいます。初代応援団長としては子どもたちの身近な夢、憧れの存在として、リーグでの更なる躍進を期待したいと思います！



放火火災にご注意を!

防火部 部長 笑野 正登

空気が乾燥し風も強くなり、これからは、ストーブやコタツなどの暖房器具を使用する機会も多くなり、火災が多発する季節となりました。

広島市消防局管内では、放火火災(疑い含む)は、昭和61年以降火災原因のトップを占めています。

11月6日には西区三滝本町二丁目、新庄町及び隣接する安佐南区長束四丁目で連続して3件の放火と思われる火災が発生しています。

また西区では今年11月21日現在で、15件の放火火災が発生し、放火火災への注意が必要です。

ご家庭や地域で、次の「放火されない8つのポイント」に注意して放火火災をなくしましょう。

—放火されないための8ポイント—

<p>1 ゴミは収集日の決められた時間に出す。</p>	<p>2 家のまわりに燃えやすいものを置かない。</p>	<p>3 物置などには必ずカギをかける。</p>	<p>4 家のまわりを明るくする。</p>
<p>5 新聞などをためないようにする。</p>	<p>6 路上駐車をしない。</p>	<p>7 洗濯物の取り込みを忘れない。</p>	<p>8 おとなりとの協力を。</p>

亥の子保存会



横川3丁目町内会 会長 山口 孝

横川3丁目町内会では一昨年「亥の子祭り」を中止することとなり、十数年前の子ども神輿廃止とともに、町内からまた一つ伝統行事が消えてしまいました。が、しかし翌年母親OB達が立ち上がってくれました。

「子供会で亥の子祭りができないなら母親OBが主導して復活させる!」との力強い言葉。

平成25年11月30日(日)横川3丁目の「亥の子祭り」が復活しました。

この呼びかけに、町内に事務所を構える「アンジュビオレ」の選手数名も加わり、また、他町からの応援もあり、子どもたちが少ないながら、往年の様な亥の子祭りの復活となり、今までやったことなどなかった温かい鍋汁を振る舞い、祭り復活を祝って参加された全員におもてなしをすることができました。

幸いにして、「亥の子祭り」が復活できたのは「町内会の伝統ある行事の火を消すな」と立ち上がってくれた母親OBの行動力にあり、感謝しなくてはなりません。これを機に「亥の子保存会」を立ち上げ、今までと違った方法で亥の子祭りが存続してくれることを願っております。



みささの亥の子祭り

老人福祉部部长 熊野 博

毎年旧暦10月、亥の日の亥の刻に行われる、亥の子の祝い。稲の収穫祭として、亥の子の神を祭る西日本に多く分布する行事で、少子化の進む三篠地区でも、大切な町内会伝統行事として、盛んに実施されています。

亥の子祭りの由来は、猪の多産にあやかり、亥の月(10月)の初めの亥の日亥の刻(午後9時から11時)に、新穀でついた亥の子餅を食べ、無病と子孫繁栄を祈る年中行事でもあります。また「亥の子節供は夕節供」という諺があり、子どもたちの行事もすべて夜に行われました。

もともとは、中国から伝わった行事で、平安時代に宮廷行事としてとりいれられ、民間でも行われるようになりました。

亥の子の神、田の神に感謝する亥の子の行事が、亥の月になると各町で始まりだし、各家の前を石で地面をつく、子供達の元気な掛声が聞こえてきます。

亥の子、亥の子、亥の子もちついて 祝わんものは、鬼うめ(産め)、蛇うめ、角生えた子うめ、やっさのしりをゆでゆでたいて、(次は好きな言葉を入れる。)・・・・・・この家繁盛せい。繁盛せい。

この日に炬燵を開き、火鉢を出し始める習慣がありました。



町内会の亥の子祭りの様子

訃報

妹尾副会長のご逝去

妹尾明義氏は長年山手町町内会会長の要職と三篠地区社会福祉協議会副会長(総務部長・交通防犯部長・公衆衛生部代議員を担当)を兼職され、日夜活躍中でしたが、病魔に侵され平成25年1月30日(享年72歳)ご逝去されました。会員一同 ご冥福をお祈りいたします。 合掌



表彰おめでとうございます

永年の社会福祉活動に対し、表彰を受けられました

広島県社会福祉協議会 会長表彰

山口 孝さん(横川町三丁目 町内会長)
西田 稲造さん(打越町 町内会長)

広島市社会福祉協議会 会長表彰

桑原 量さん(三篠地区公衆衛生部 部長)

広島市西区社会福祉協議会会長表彰

久保田 守さん(三篠地区民生委員・児童委員協議会 副会長・西区地域福祉推進委員)

三篠地区社会福祉協議会 役員名簿

(平成25~26年度)

役職	部署名	氏名(町内会長等)
会長		水戸川 旭
副会長 理事	総務部長 公衆衛生部部长	桑原 量(竜王町町内会長)
	総務部副部长	黒田 定明(三篠町二丁目町内会長)
	民生部部长	若宮 登(三篠地区民児協会会長)
理事	地域福祉推進委員	久保田 守(西区地域福祉推進委員)
	総務部副部长	松前 卓三(三滝本町一丁目町内会長)
	経理部部长	和田 吉雄
	交通防犯部部长	山口 孝(横川町三丁目町内会長)
	地域福祉推進委員	濱田 修二(三滝観音台町内会長)
	ボランティアバンクコーディネーター	金本 隆久
	町内会長	西田 稲造(打越町町内会長)
		登 勝捻(三滝町町内会長)
		沖田 清輔(横川町二丁目町内会長)
		寺岡 武(三篠町一丁目町内会長)
		横山 卓二(横川新町町内会長)
		馬場 伸之(横川町一丁目町内会長)
		品川 勝造(三滝本町二丁目町内会長)
		森島 誠司(山手町町内会長)
		原本 勝幸(楠木町一丁目町内会長)
和田 和弘(スカイプラザ横川自治会長)		
勝部 郁夫(中広町三丁目町内会長)		
理事	防災部部长	矢野 正登
	体育部部长	滝山 瑞枝
	子ども会育成部部长	中江 正彦
	青少年育成部部长	小田 房雄
	老人福祉部部长	熊野 博
	女性部部长	高田 清子
	母子福祉部部长	宮本千鶴子
	更生保護部部长	鈴木 健一
	広報部部长	三好 康之
小学校PTA会長	星野 哲郎	
監事		高津 明伸
		馬場 伸之

編集後記

「三篠のふくし通算22号」は三篠地区社会福祉協議会会員の皆様の日活動の一端を紹介する内容を中心に編集いたしました。

今号は、三篠協の年間活動方針、各部の事業・活動報告、町内会の活動報告など、三篠地区に密着した記事となりました。現在の広報委員は3名(三好・栗栖・森島)となりました。会員の皆様からの原稿や忌憚のないご意見、感想をお寄せ下されば幸いです。

(広報部広報委員会 代表 三好康之)

